

デザインと色にこだわって 住宅街で目を惹くログハウス

普通の家では、つまらない——。
理想の住まいを追い求めたら、ベースとなるのはログハウスだった。
デザインと色にこだわって、完成したのは、住宅街で人目を惹く
モダンなログハウスだ。



栃木県 斉藤邸

タイル貼り職人の斉藤さんは、事務所兼自宅とするためのログハウスを建築。



世間のイメージする山小屋に欠かせない切妻屋根をやめ片流れに。日差しを引き入れるため南側を高くした。

片流れ屋根に赤い壁
モダンなログハウス

住宅街に立ち上がる片流れ屋根。紅に染まる壁面は空に映える——。
なかなかにしてモダンなこのお宅よく見ると、一階の壁にログ材が積み上がるまごころとなきログハウスだ。
「普通だとつまらないじゃないですか。人目を惹く家にしたかったんです。」
オーナー、斉藤さんの奥様は、そう語る。なかなかにして小粋な着こなし。なるほどこのご婦人なら、お住まいのデザインをおざなりにはずまい。
斉藤さんはタイル貼りの職人さん。じつは、そのお兄さんがログハウスを建てる大工さんだ。
「義兄が手がける家を見るたびに、いいなあと思っていました」
奥様はログハウスを選んだきっかけをこう語る。一般住宅と違う、木の持ち味、その存在感。奥様が惹かれたのは、いわずもがな、お義兄さんが手がけているメーカーのものだった。
それがイーストログハウスだ。

住宅地でも違和感のない
デザインにしたかった

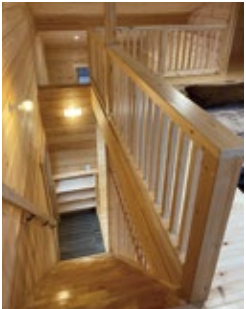
さて、どんな家にしようか？ こだわったのが冒頭にあるデザイン。
「山小屋のイメージがあるログハウスですが、住宅地でも違和感のないデザインにしたかったんです」
街の景観に引き立つ2階壁面を染め



玄関ドアにはステンドグラス。



トイレと洗面台。



階段を降りたところに玄関。



1階事務所と2階プライベートをつなぐ階段には縦格子の目隠しを設置した。



1階のリビングは広くゆったりとった。



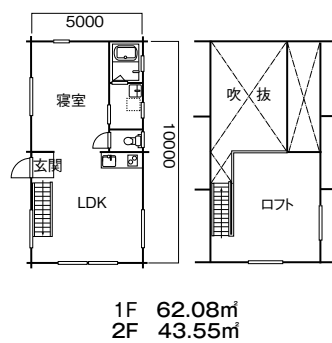
ロフトは広い。右前方、屋根下スペースは収納に活用。

KIT HOUSE Type3

イーストログハウスの ワンポイントアドバイス

廊下の無い、広々としたワンルーム形式のバリヤフリー住宅です。
老後を見据え車椅子でも生活し易いようにドア巾も広めにした、長寿の館です。

キットハウスアイテム：
ラミネートDログ フリープラン



取材協力 / 南イーストログハウス <http://www.eastlog.jp/>
東京都葛飾区鎌倉 4-40-15 TEL. 03-5622-7881

ているのはシッケンズのマホガニー。
1階ログ壁は同ナチュラル系だ。
プランの基本は、1階を仕事の事務所兼リビングと水回りに、2階を寝室とロフトにということにおいた。
ここで工夫を凝らしたのは階段。事務所ともなる1階と2階をはっきり区分けしたいが、壁を設けると、閉鎖的になってしまふ。そこで、縦格子のめかしくしを階段脇に設置した。
ログ壁は、生活のしやすさと、丸太のログハウスの雰囲気併せ持つ、内側が平らにならされ、外側にはアールがついたDログとした。
「道ゆく人が『これってログハウスなの？』と声をかけてくれるんです」
そして、次なる構想に向けて、早くも思いを巡らせているご様子だ。
「今度は、どんな色にしようかって、考えるだけでも楽しいんです」
既成の概念に捉われず、思い思いの色に染め上げる。住まいとは、本来、もっと自由であっていいはずだ。
ゆく時節に早朝から塗りに励む。
「現場にいつ行っても、足場に乗って塗装をされていらっやいました」
とは、イーストログハウスの営業某氏。塗る前に端材で色を確認してから塗装に入る念の入りのよう。施工に半月、がんばり過ぎの余り「大変だったわ！とおっしゃっていました」。
しかし、甲斐あって出来は上々。思い通りのデザイン、雰囲気となり、奥様も改めて満足げにひと言。
「ログハウスにして良かったですー」
人を惹きつけるデザインからは新たなコミュニケーションも生まれる。
「道ゆく人が『これってログハウスなの？』と声をかけてくれるんです」
そして、次なる構想に向けて、早くも思いを巡らせているご様子だ。
「今度は、どんな色にしようかって、考えるだけでも楽しいんです」
既成の概念に捉われず、思い思いの色に染め上げる。住まいとは、本来、もっと自由であっていいはずだ。